

科目	コミュニケーション論				
時間数	1単位 15時間	授業方法	講義	授業時期	1年
講師名	③八塚愛未 ⑤山本 齊				
実務経験	③看護師				
ねらい	<p>看護を目指す者として、コミュニケーションの重要性を理解し、人と人との信頼関係の形成に不可欠なコミュニケーションと対人技法を学ぶ。</p> <p>自己理解・他者理解に努め、互いを尊重した対人関係の構築、発達段階に応じた個人や集団とのかかわり方を学ぶ。</p>				
目標	<p>1. 対人関係におけるコミュニケーションの重要性を理解し、医療の場の人間関係について、医療者として、対象者の多様な価値観を尊重し、信頼関係を結ぶことができるよう、配慮すべきことが分かる。</p>				
授業計画					
回	内容				
1	<p>コミュニケーションの基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション(言語的・非言語的)の種類</li> <li>・対人関係構築の技法</li> </ul>				
2	<p>自己理解・他者理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的傾聴と共感・自己モニタリング</li> </ul>				
3~4	<p>共感的理解と応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロセスレコード・事例を用いて想像力を培う。</li> </ul>				
5	<p>患者理解と言葉がけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1~4総括</li> </ul>				
6	<p>小児と集団の特性に応じたコミュニケーション①</p> <p>—小児の発達特性から考えるコミュニケーションのあり方—</p>				
7	<p>小児と集団の特性に応じたコミュニケーション②</p> <p>—保育現場における事例から見たコミュニケーション—</p>				
8	<p>小児と集団の特性に応じたコミュニケーション③</p> <p>—小児理解に基づく、医療従事者の対応—</p>				
評価方法	時間数の3分の2以上の出席の上、指示されたテーマについてレポート提出				
教科書	自己理解・他者理解を深めるプロセスレコード、日総研				